



堀田 晋一朗

9日からレギュラーラウンドの上位6チームが出場するファイナル6がスタートした。レギュラーラウンドの勝ち点はリセットされ、あらためて順位によって上位からポイントが付与される。1位通過のパナソニックは5ポイント、4位通過のわれわれサンダーズは2ポイントが付与され、短期決戦へと突入した。

ファイナル6で1位を獲得すれば、直接ファイナルへ進出できる。2位または3位になれば、ファイナル3を勝ち上がってファイナル出場となる。もちろん1位で通過



東レ戦でブロックを決めた
深津選手（右端）とたたえる
エドガー選手＝左端
（9日）

🏐 ファイナル3へ大一番

し、十分な準備期間を得てファイナルに臨むことが有利ではあるが、各チームも目の色を変えて挑んでくるため、厳しい道のりとなるだろう。

さて、ここで先週の結果報告。

9日に静岡市であったレギュラーラウンド5位の東レとの対戦はフルセットの末に勝利した。主将の山本将平選手、セッターの深津旭弘選手を中心に各選手が縦横無尽にコート駆け回り、まさにワンプレーに魂を込めて戦っていた。東レとはレギュラーラウンドで1勝2敗だったが、一進一退の攻防が続いた中で熱戦を制した。

これで勝ち点2（フルセット勝利により）を獲得。16、17日にある2位サントリー、1位パナソニックとの対戦へ向け、幸先の良いスタートとなった。この連戦はファイナル6を占う大一番となるだろう。ここで連勝すれば1位通過も見えてくる。

今シーズンは福井国体や全日本選手権で優勝を飾るなど短期決戦と相性がいいだけに、高い集中力と爆発力で相手を圧倒したい。これまでとは違うプレッシャーものし掛かるだろうが、隙を見せず、チーム一丸となって一戦必勝で臨んでいく！（J-Tマネジャー）